

平成30年度 第3次広島市食育推進計画に係る主な取組 及び 平成31年度計画
(広島市食育推進会議 委員推薦団体分)

● わ食(和食・輪食・環食)の推進に向けた重点プログラム

1 わ食の日事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> 和食に関心を持たせる。 輪食の大切さを知り、テレビやゲーム等から離れ、会話を楽しみながら味わって食べることを啓発する。 	平成 30 年度と同様
広島市私立保育園協会	<p>(1) 給食での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園で保育園給食の献立作成にあたっては、「わ食」を取り入れる。 <p>(2) 保護者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園で「給食だより」の作成にあたって、「わ食」に関する内容を掲載し家庭に配布する。 <p>(3) 子育て支援イベントでの啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島テレビ主催の子育て支援イベント「子育て応援団すこやか 2018」で、「食育コーナー」を担当し、保育施設の食育活動を広く知らせる。 	平成 30 年度と同様
広島県栄養士会	<p>(1) フードフェスティバルの参加 (30.10.27 及び 10.28 栄養相談 延べ 165 名)</p> <p>(2) 食生活相談(フジグラン)</p>	<p>(1) 継続</p> <p>(2) 継続</p>
広島市歯科衛生連絡協議会	「2 嚙ミング30運動の推進」と同様	平成 30 年度と同様
日本チェーンストア協会	取組状況無し	月 1 回「家族団らんの日」をもうけて、夕食に魚・野菜を中心とした和食をとる。
広島消費者協会	<p>(1) 消費者大学講座の開催(7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者問題に関心の高い市民を対象に、広島市職員を講師に招き、健全な食生活について、日本型食生活の大切さを学んだ。 参加者 34名 <p>(2) 食品ロスの研究(12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> フードバンクにどのような食品が集まり、どのように配布されるのかについて、現場を見学し、懇談を行った。 また、地区の公民館で、家庭の余剰食品を持ち寄り、食品ロスを出さないための工夫や啓発を行う料理教室を開催した。 参加者 延べ12名 	平成 30 年度と同様

2 ^カ ^{サンマル} 噛ミン^グ30運動の推進

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> よく噛んで食べることの大切さを保護者への啓発 よく噛んで食べることの大切さを各園で園児に随時指導 	平成 30 年度と同様
広島市私立保育園協会	<p>(1) 給食での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園で年間指導計画を作成し、よく噛んで食べるよう指導し、「噛ミン^グ運動」を推進する。 <p>(2) 保護者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月、各保育園で「給食だより」の作成にあたって、「噛ミン^グ30 運動」の内容を掲載し、家庭に配布する。 <p>(3) 子育て支援イベントで啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島テレビ主催の子育て支援イベント「子育て応援団すこやか 2018」で、「食育コーナー」を担当し、保育施設の食育活動を広く知らせる。 	平成 30 年度と同様
広島県栄養士会	<p>(1) 「おくちの健康展」いい歯のためのバランス食の啓発、栄養相談</p> <p>(2) 「噛むことについて乳幼児から高齢者まで」の研修会(地域活動事業部事業 31.3.3 予定)</p>	(1) 平成 30 年度と同様
広島市歯科衛生連絡協議会	<p>噛ミン^グ30運動(よく噛むことの大切さ)を含む、歯と口の健康の重要性について周知するための活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島市歯科医師会学校歯科医協議会での公開講座 保育園での噛ミン^グ30教室 広島市学校保健大会(よい歯の集い)での講演 市民を対象とした講演活動 医療・介護専門職を対象とした講演活動 マスコミを活用した広報活動 	平成 30 年度と同様
日本チェーンストア協会	取組状況無し	月 1 回「家族団らんの日」をもうけて、テレビを観ずゆっくりとよく噛んで食べる日とする。

3 つなぐ・つながる地産地消推進事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立保育園協会	<p>(1) 給食での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園で、広島県産の食材を可能な範囲で取り入れる。 <p>(2) 保護者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園で「給食だより」の作成にあたって、「つなぐ・つながる地産地消推進事業」の内容を掲載し、家庭に配布する。 <p>(3) 地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のひととのもちつき、地域でとれたもので切干大根や干し柿などを作ったり、一緒に食事をするを通して地域の食文化に触れる取り組みを行う。 	平成 30 年度と同様
日本チェーンストア協会	店舗の青果コーナーの地産地消コーナーで地元の野菜をPR	平成 31 年度も同様
広島市食品衛生協会	食品衛生協会(食品衛生指導員)と広島市生活衛生推進員(広島市ボランティア)が協働し、魚の捌き方教室、きのこ観察会、味噌作りやこんにやく作りなどを通じて、食の体験、消費拡大、地産・地消等について市民に啓発を行なった。	平成 30 年度と同様

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島消費者協会	<p>(1) 消費者大学講座の開催(9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者問題に関心の高い市民を対象に、広島市職員を講師に招き、地産地消のメリットや農林漁業の現状について学んだ。 ・ 参加者 32名 <p>(2) 消費生活問題広島コンファレンスの開催(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島修道大学教授を講師に招き、広島県内農作物の生産環境の変化や問題点などについて講演会を実施するとともに、広島県、市場関係者、生産者と消費者によるシンポジウムにおいて、地産地消に関するそれぞれの取組を発表した。 ・ 参加者 127名 <p>(3) 工場等施設見学会(10・11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場等の施設見学を通じて、生産者や事業者との懇談を行い、相互に理解を深めるとともに消費者側からの意見反映を図った。 平成30年度は、オタフクソース、広島アグリフードサービス、萬国製針(株)などの見学を行った。 ・ 参加者 7地区で274名 <p>(4) 産地視察交流会(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食の安全安心を確保するため、農林水産物の生産地等を視察し、意見交換と相互理解を図った。 平成30年度は江田島市沖美町の花き生産団地を視察した。 ・ 参加者 40名 <p>(5) 「広島かき」親子料理教室の開催(12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生とその保護者を対象に、広島県の特産である「牡蠣」の調理を通じて、子供に食の大切さを伝え、食への関心・興味を深めてもらった。 ・ 参加者 32名 	平成 30 年度と同様

4 食と農と水産の体験活動推進事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立保育園協会	<p>(1) 各保育園での食育推進として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お米や野菜づくりや芋ほりなどを体験し、収穫の喜びを得たり、食材に興味をもつ。 ・ 食材の魚を触ったり、解体したり、料理したりして、魚に親しむ。 	平成 30 年度と同様
広島市食品衛生協会	<p>食品衛生協会(食品衛生指導員)と広島市生活衛生推進員(広島市ボランティア)が協働し、魚の捌き方教室、きのご観察会、味噌作りやこんにやく作りなどを通じて、食の体験、消費拡大、地産・地消等について市民に啓発を行なった。</p>	平成 30 年度と同様
広島消費者協会	<p>(1) 「広島かき」親子料理教室の開催(12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生とその保護者を対象に、広島県の特産である「牡蠣」の調理を通じて、子供に食の大切さを伝え、食への関心・興味を深めてもらった。 ・ 参加者 32名 	平成 30 年度と同様

● 生涯にわたる間断ない食育の推進に向けた重点プログラム

5 男性のための食育推進事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島県栄養士会	(1) 「栄養ワンダー2018」「栄養の日・栄養週間 2018」のテーマでもある、「栄養障害の二重負荷」(①若年女性のやせ、②高齢者の低栄養、③中年男性の肥満)の解決について栄養ワンダーブック(媒体)を配布して啓発。 ポスター掲示とチラシ配布。	(1) 栄養ワンダー事業は継続。 テーマについては不明。
広島市歯科衛生連絡協議会	「2 嚙ミング30運動の推進」と同様	平成 30 年度と同様

6 若者世代のための食育啓発事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立保育園協会	(1) 保護者への啓発 ・ 各保育園で「給食だより」の作成にあたって、「わ食」・「嚙ミング 30 運動」に関する内容を掲載し家庭に配布する。 (2) 子育て支援イベントでの啓発活動 ・ 広島テレビ主催の子育て支援イベント「子育て応援団すこやか 2018」で、「食育コーナー」を担当し、保育施設の食育活動を広く知らせる。	平成 30 年度と同様
広島県栄養士会	(1) 青年対象健康教室(専門学校生) (2) 「栄養ワンダー2018」「栄養の日・栄養週間 2018」のテーマでもある、「栄養障害の二重負荷」(①若年女性のやせ、②高齢者の低栄養、③中年男性の肥満)の解決について栄養ワンダーブック(媒体)を配布して啓発。 ポスター掲示とチラシ配布。	(2) 栄養ワンダー事業は継続。 テーマについては不明。
広島市歯科衛生連絡協議会	「2 嚙ミング30運動の推進」と同様	平成 30 年度と同様
日本チェーンストア協会	取組状況無し	大学生による食育プロジェクトフェスへの見学を呼びかけ

7 食を通じてみんなで育てよう ひろしまっ子事業

団体名	平成 30 年度取組状況	平成 31 年度計画
広島市私立幼稚園協会	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に応じた内容で、食育に興味・感心をもたせる。 食事のマナーや、食べ物の大切さを知る。 	平成 30 年度と同様
広島市私立保育園協会	<p>(1) 給食での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 献立作成にあたっては、季節感や地域性を考慮し、品質がよく、幅広い種類の食材を取り入れる。 除去食対応を中心に、食物アレルギー対応を行う。 園児に対し、3色分けした栄養ボードを使って、給食食材のグループ分けをし、情報を提供する。 各年齢別に年間指導計画を立て、年齢にあわせて食事マナーを教える。 <p>(2) 保護者への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 各保育園において、生活リズムの定着を図る。特に朝ごはんの大切さを伝える。 保育参観等で、給食参観や給食試食、食についての紙芝居や講演などを行い、必要に応じて個人懇談を行う。 給食だよりや給食展示、献立表の展示により、給食についての情報を提供する。 	平成 30 年度と同様
広島県栄養士会	<p>(1) 「おくちの健康展」いい歯のためのバランス食の啓発、栄養相談</p> <p>(2) 「作ってみようよ！ 自分の朝ごはん」事業※に審査員等で参画し、入賞者をフードフェスティバルで表彰 ※ こども未来づくり・応援隊事業</p> <p>(3) 「食物アレルギーの基礎知識」学校健康教育事業部</p> <p>(4) 保育所給食に関わる管理栄養士対象研修会(4回)</p> <p>(5) リビング食育・健康フェア</p>	<p>(1)(2) 平成 30 年度と同様</p> <p>○ 保護者セミナー (広島県からの委託事業)</p>
広島市医師会	<p>(1) 小・中学校における健康管理プログラムの導入</p> <p>(2) 各学校での学校保健委員会への参画</p>	平成 30 年度と同様
広島市歯科衛生連絡協議会	「2 嚙ミング30運動の推進」と同様	平成 30 年度と同様
広島市食品衛生協会	食品衛生協会(食品衛生指導員)と広島市生活衛生推進員(広島市ボランティア)が協働し、市内の一部の小学校(児童館を含む)や料理教室及び区民祭などの地域イベントで子どもを中心として、市民に「正しい手洗い」の必要性を説明し、体験型の手洗い講習を行なった。	平成 30 年度と同様